

## 【⑥宮郷】 宮郷地区協議体

### ★取り組みの状況

宮郷地区協議体では、「居場所づくり」を進めてきました。

また、協議体メンバーが地域に戻り、区長をはじめ、役員、民生委員、ボランティアに大切なことを伝え、協力してもらうことを取り付けました。

地域で活躍する支え合いサポーターとしても、リーダー的存在となり、居場所、訪問見守り活動、社会福祉協議会が支援団体に貸し出す「支え合い車両」を利用した、買物や通院の移動支援を立ち上げています。

コロナ禍では、居場所参加者にお手紙を書いたり、ラジオ体操をしたり、町内のごみ拾いを兼ねた「歩け歩け」、チラシの町内回覧をしています。

「コロナ禍でも出来る方法・課題」について考え、居場所の感染予防対策やチェックリストを作り、支え合いサポーターで共有し準備をしています。

早くコロナが終息することをみんなで願っています。



「支え合い車両」を利用した移動支援



協議体の話し合いの様子

### ★今後の方向性

- ・ コロナで居場所が中断したので、居場所から支え合い活動に繋げる大切さを再認識する。
- ・ 支え合いサポーター養成研修資料を作成し、協力者を増やす取り組みを進めていく。
- ・ 支え合いサポーターが調査票によりニーズ把握し、マッチングする仕組みを構築する。
- ・ 各町区で進み具合に差があるので、宮郷地区全域に活動が普及するよう進めていく。
- ・ 地域住民に協議体活動を理解してもらい、浸透を図る。